

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立都島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	都島区
学 校 名	大阪市立都島小学校
学 校 長 名	北浦 正美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立都島小学校では、第6学年 48名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立都島小学校の結果概要

全国の平均正答率と比べ、国語科において+0.1ポイント、算数科において+4.6ポイントとなった。また、平均無回答率は国語科は+3.2%と全国平均と比べ良好であるが、大阪市に比べると課題がみられた。算数科においては+3.9%と全国、大阪市と比べ課題が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」において、平均正答率が全国平均および大阪市平均を上回った。一方で「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。また、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することにも課題が見られた。

【算数】ほとんどの領域で全国平均を上回ったが、「測定」領域において、平均正答率が全国平均を下回り課題が見られた。また、単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらが混んでいるのかについて判断する問題にも課題が見られた。

質問調査より

「普段、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか」の項目において、4時間以上と回答する児童が全国平均および大阪市平均より多くなった一方、30分より少ないと回答する児童も全国平均および大阪市平均より多くなっており、2極化がみられる。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の項目において最も肯定的に回答する児童は全国平均および大阪市平均より大幅に少なくなった。協働的な学びを通して、仲間と意見を交わしながら自分一人では得られない気づきを得たり、一緒に課題を乗り越えたりする瞬間の「一体感」や「発見」を十分得られていないことがわかる。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目については肯定的に回答する児童が高い水準を保っているものの、正しい理解のもとすべての児童が最も肯定的に捉えられるように、「いじめ」に対する教育を今後もしっかりと行っていく。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目において、回答したすべての児童が肯定的に回答している。先生によりよいところを認められていると感じることは、児童の自己肯定感の基盤となり、先生との良好な信頼関係が築かれていることがうかがえる。

今後の取組（アクションプラン）

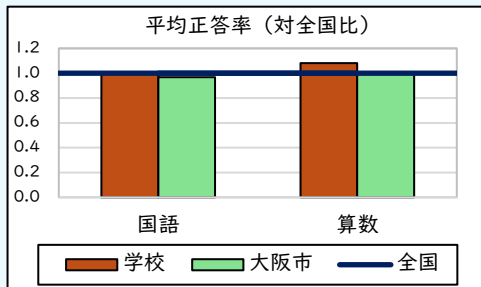
資料を効果的に活用して、目的・相手・状況に応じて説明を工夫したり、自分ならどう説明するかを意識しながら聞いたりする活動をすべての授業や学校生活の中で説明する機会を意図的に設けていく。また、具体的な場面と計算が関連付けて理解できる授業を行っていく。学力の2極化を解消し、全体的なボトムアップを図るとともに自ら学ぶ主体性をもった子どもの育成に取り組んでいく。

スマートフォン等の活用時間と学力については相関関係が認められている。特に高学年児童においては正しい使い方を自ら考え行動に移していくことを考える場を設定していく。様々な体験活動や人との出会い等を通して、一人一人の個性を大切にし違いを理解しようとする心を育てていき、人権教育を基盤とした、社会有用性を高めていくような取り組みを進めていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

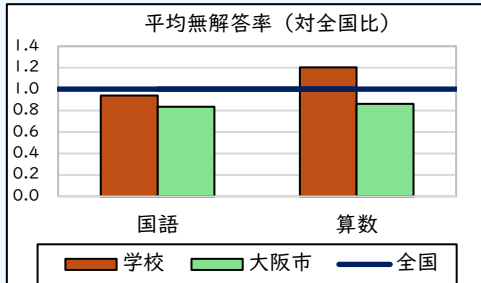
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61	61
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



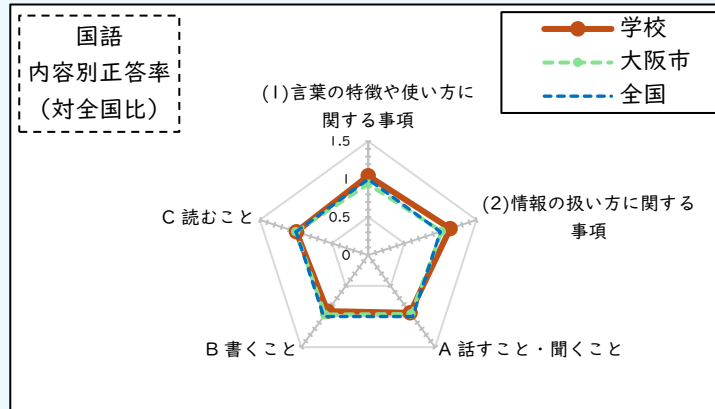
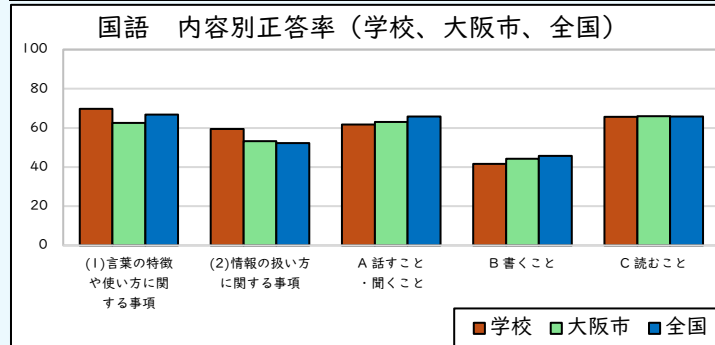
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.2	3.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



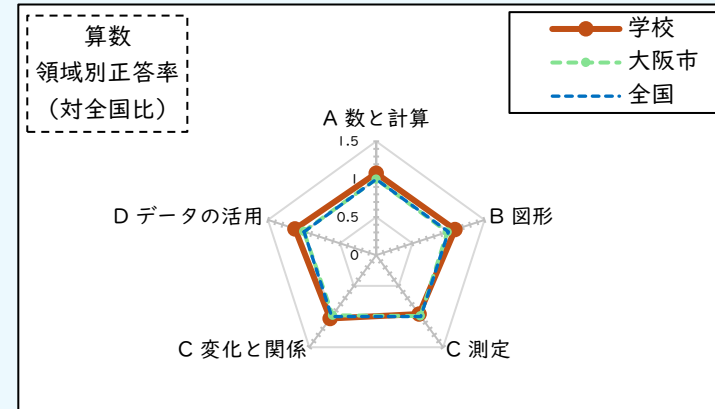
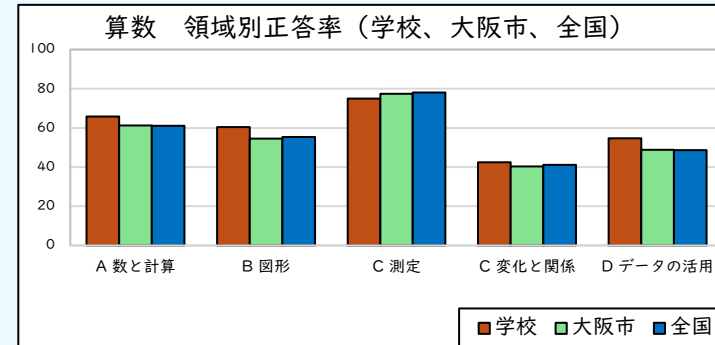
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	69.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	59.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	61.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	41.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	65.6	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	65.9	61.2	61.1
B 図形	4	60.4	54.5	55.3
C 測定	1	75.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	42.4	40.3	41.1
D データの活用	4	54.7	48.8	48.6



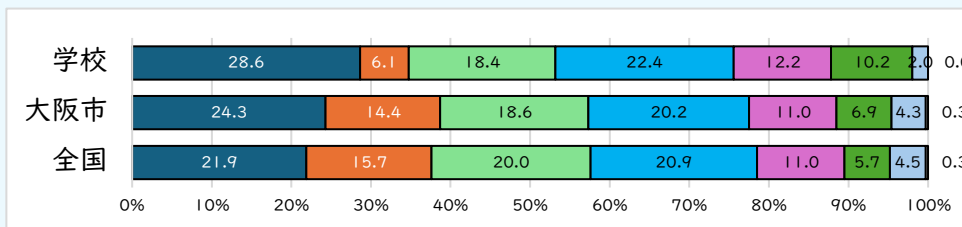
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号 質問事項

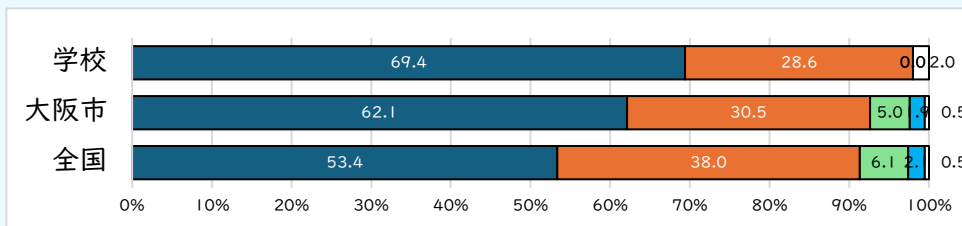
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
-----	---



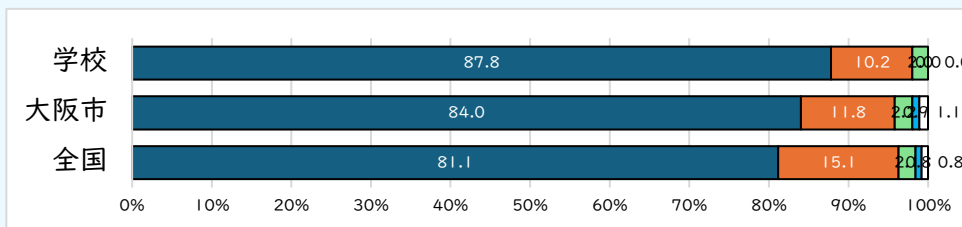
- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 30分以上、1時間より少ない
- 6 30分より少ない
- 7 スマートフォン等を持っていない

(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
-----	------------------------------



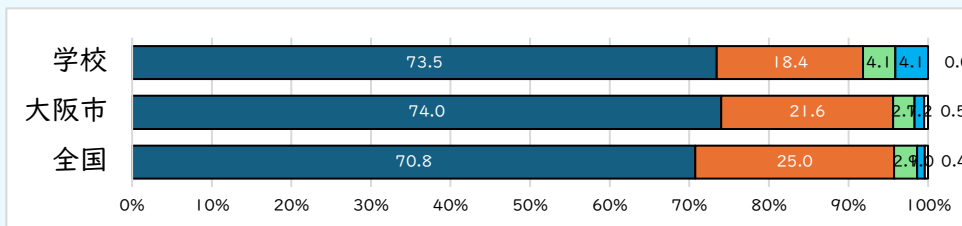
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



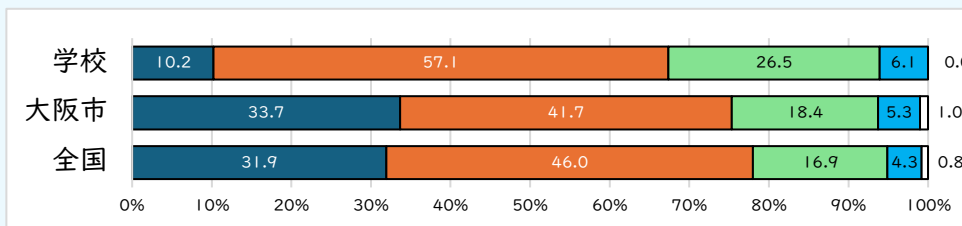
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
------	---------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(16)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
------	---------------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

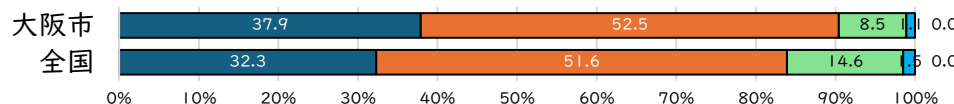
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

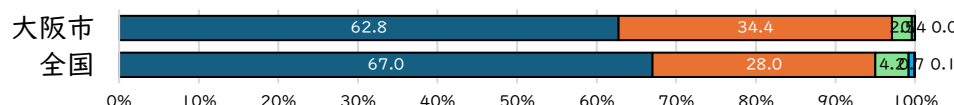


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

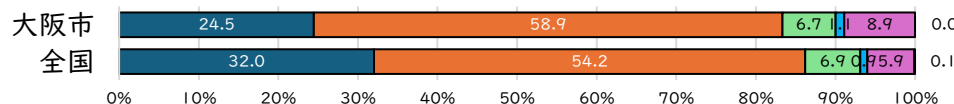


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(80)

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献していたと思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

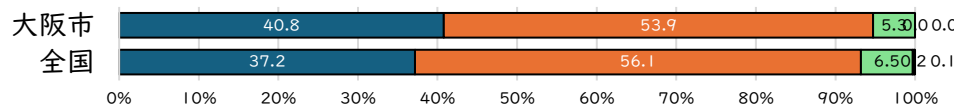


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない
5 取組を行わなかった

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 1 当てはまる

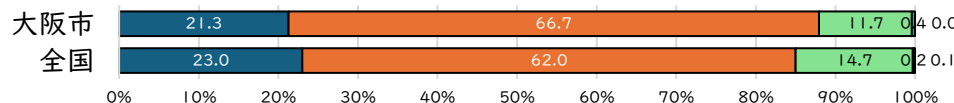


1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(37)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった